

地球レジリエンス強化に向けた 低温プラズマ学と遺伝学の フロンティア学際ハブ

2026年3月23日(月)

13:30~16:30

ステーションコンファレンス東京

4階402

プログラム

【司会】石川 健治

(名古屋大学低温プラズマ科学研究センター)

13:30 【御挨拶】

俵 幸嗣 文部科学省 大学研究基盤整備課 課長

大野 哲靖 名古屋大学 低温プラズマ科学研究センター センター長

福田 直也 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター センター長

坂本 瑞樹 筑波大学 プラズマ研究センター センター長

◆ 休憩 (写真撮影) ◆

13:55 「低温プラズマ農学の可能性と今後の展開」

柴 博史 筑波大学 生命環境系 教授

14:15 「植物の環境フィットネスを制御するRNA-エピゲノム相互作用」

大谷 美沙都 東京大学 大学院新領域創成科学研究科生命科学研究系・先端生命科学専攻 教授

14:35 「サゴヤシなど熱帯資源植物の環境ストレス応答」

江原 宏 名古屋大学 生命農学研究科 教授 (農学国際教育研究センター 長)

14:55 「低温プラズマから植物への活性酸素・活性窒素のインパクト」

古閑 一憲 九州大学 システム情報科学研究院 教授

15:15 「ミトコンドリア内膜ATPトランスポーターとFe-Sクラスターを介したDNA脱メチル化酵素活性制御」

木下 哲 横浜市立大学 理学部/生命ナノシステム科学研究科 教授

15:35 「共生窒素固定を制御する植物の分子機構と進化基盤」

壽崎 拓哉 筑波大学 生命環境系 教授

15:55 「農学 × プラズマ学による環境変動時代の食料生産」

石橋 勇志 九州大学 農学研究院 教授